

## 2018Japan National Team Report ” サポーター”



報告者氏名	川前 綾子
大会名	2018 Optimist Asian&Oceanian Championship
開催地	Ngwe Saung , Myanmar
大会期間	10-17 November 2018

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について

このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	空港から数キロは都会。大きな川を隔てた先は草原や畑が続く。開催場所までの道路は舗装状態が悪く、バス(約7H)は揺れが酷かった。開催場所の敷地を一步出ると、飲食店や商店が数件が並んでいるが、選手たちはほぼ外へ出ていない。
宿泊場所	大型のリゾートホテル。中央にレストランやキレイなプールがあり、両脇に宿泊棟。敷地内に砂浜出艇できる広いビーチがある。計測所やセール置き場、艇置き場(屋外)など十分なスペースがあり、敷地内を多くの荷物を持って移動するときは、バギーで送迎してくれることもあった。
大会のサポーターへの対応は	選手やコーチ監督とは宿泊棟が分かれたので何度も往復することになったが、敷地内で全てが住む状況。有料でゲストパスを購入すれば、開会式/閉会式は、選手と同じテーブルで食事ができ、朝食も毎日ついていて。敷地内レストラン以外で食事ができる場所は、敷地外の食堂1件のみ。昼は(不要になった)選手用ランチパック、夜は有料でレストランを利用。
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか?	長いバス移動は、悪路にも関わらず、みんな仲良く楽しそうに過ごしていた。現地での食事はbuffet式のレストラン1か所のみで、期間中を通して毎日ほぼ同じメニューだったので、選手は飽きてしまったかもしれない。特に男子はパンばかり食べていたので、3日目ごろにバランスを考えて食べるように伝えた。沖弁のコンテナボックスは日替わりのサンドイッチと固めに茹でた野菜。11人分をコーチ一人で持って行けず、中身も選手好みではなかったため、持参したおにぎり/魚肉ソーセージ/パワーバランス/ゼリー類が全部活用できた。頭痛や腹痛の選手が少し出たが、概ね元気に楽しく過ごし、レースに大きな支障はなかった。各選手の親が一人ずつ、全行程において同行したので、心強さもあったと思う。
サポーターとして気をつけたことは?	男子5人女子5人全員で、非常に仲良く楽しく過ごしていた。帰国後すぐテストの選手もいたため、勉強と一緒に取り組む様子も見られた。そのため睡眠不足にならないかは心配し、声をかけていた。選手間のトラブルはほぼなかったため、食べることと寝ること、持ち物や部屋の整理整頓について、主に声をかけていた。

海外の選手を見て感じたことは？	ミャンマーの選手は、ホスト国として他国の選手に積極的に声をかけていた。特に女子選手は日本の女子選手とよく交流していた。艇の扱いやレースへの取り組みなどは、日本とそれほど変わりなく、みな真面目に取り組んでいたし、マナーもしっかりしていた。
日本の選手を見て感じたことは？	Tシャツ交換など、他国の選手と積極的に交流しようとする姿が見られた。男女ともに、他国の女子選手とは交流し連絡先を交換していたようだが、男子選手とはあまりそんな感じではなかった。外国でもリラックスして、いつも通りレースに取り組んでいたのではないかと思う
Spare day の過ごし方は？	予備日はなかった。選手たちは初日の晩に一度、車で 20 分ほどの商店街へ行ったが、あまりキレイな場所ではなく、特に男子は怖がって早く帰ったそうだった。それ以外は一度も開催場所の敷地から出ていない。夜は選手どうしで、部屋でランプをしたり話をしたりプールで遊んだりして、過ごしていた。
日本チームとしての課題はありましたか	選手の生活面、人間関係においてはほぼ問題がなく、親たちも、期間中に起こる小さな事柄を少しずつ話し合いながら、問題なく過ごした。チームレースが惜しくも1チームのみの参戦となり、出られなかった5名の選手はがっかりしていた(特に出られなかった選手がチームレースに出なかった)ので、フリーレースとチームレースに対する技術向上が、課題になると思う。アジアオセアニア大会で、日本選手が入賞できるようになるとよい。
JODAへの要望	NT合宿は、選手&親のチームの絆を深めるために非常に重要だったので、今後もぜひ継続していただきたい。NT選出においては、19 名もの選手をNTとすることで、合宿や海外遠征において多くの選手の技術向上につながっていると思うので、今後も継続いただきたい。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の宿泊先は洗濯機や脱水機がなく、各選手の意向により母たちが手洗した。湿度が高く晴れても外では乾かないので大変だったが、設備がない場合はどうしたらよいかの勉強になった。(大きなビニール袋で一気に洗濯し、バスタオルに挟んで踏んで脱水、室内でエアコンの風を十分あてて1日で乾かす)</li> <li>・選手の補食は、やはりおにぎり🍙が一番。お湯でできる白米は海外遠征の必須アイテムだと思う。また、概ね好評だったのは、海苔、魚肉ソーセージ、ガッツギア(ゼリードリンク)。選手たちは夕飯後もお腹がすくので、沖弁対応以外にも夜間用の補食が必要だと感じた。(ヌードル系やおやつなど)</li> </ul>

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会